

県内学校ミニ・ニュース (八千代市立阿蘇米本学園)

本校は今年度、阿蘇小学校・米本小学校・米本南小学校・阿蘇中学校の4校を統合し、八千代市初の義務教育学校として開校しました。開校から約3か月が経ち、慌ただしい日々を過ごしていますが、「あえて未完成な学校を、子どもと先生、地域（保護者）全員がデザイナーとなり、共創していく」という「あそよなブランド」を合言葉に、さまざまな取り組みに挑戦しています。今回は、その取り組みの一部を紹介します。

1. 「あそよな」ならではの、皆が Win-Winとなる異学年交流

1年生から9年生の児童・生徒が同じ校舎で過ごしていることを生かし、数々の交流を行っています。4月に行われた入学式では、8・



8・9年生の先輩と入場

9年生が新1年生と一緒にリボンをもって、入退場のお手伝いをしました。6月に行った運動会では、5～9年生の児童・生徒が、競技や係活動で一緒に活動しました。長縄跳びは一緒に行い、紅白対抗リレーでは学年を超えてチームを編成し、力を合わせて競技に取り組みました。5～7年生で踊った「よっちょれソーラン」は、迫力ある踊りになりました。



5～7年生によるダンス

2. Well-Beingに向けた「あそよな」の新たなチャレンジ

本校では義務教育学校の特色を生かし、前期課程の教員が他クラスを教える教科担任による授業、後期課程の教員が前期課程を指導する乗り入れ授業、複数教員によるTT授業などを導入しています。1・2年生は音楽と体育、言語活動の3教科で、3・4年生は約半数の教科で、5・6年生は国語と算数以外の教科で実施しています。前期課程でも学級担任以外が授業を受け持つことで、学級担任に時間的な余裕が生まれ、連絡帳に目を通して早期に対応したり、専科教員の授業のサポートに入ったりすることができます。また、前期課程の教員も後期課程の教科の指導や部活動の指導を行っています。



体育専科と担任による授業

このように本校では教職員がワンチームになることで、お互いのWell-Being（全ての人の幸せ）作りに挑戦しています。さらにPTA活動では「子どもたちのWell-Beingのために！」という理念の下に見直しを図り、組織や活動をスリム化し、入退会自由な参加型のWell-BeingなPTA活動に変更することで、「未来型のPTA」活動にも挑戦しています。

全てのマナー・ルールを職員のボトムアップで決めていくが基調！

統合したばかりの本校には、成果と共に課題もあります。しかし、その課題こそが新たな挑戦を生み出し、ワクワクしながら子どもや保護者、地域の方と共創しています。これまでの概念にとらわれずに、絶えず上・前・先を目指しながら、そして「先生方のワークよりもライフを大切に！」という働き方改革の推進という視点も大切にしながら、持続可能な「あそよなの新たなチャレンジ」に取り組んでいきます。

